



小江戸甲府
花小路



こうふ亀屋座

亀屋座

演劇ワークショップ(全4回)

「亀屋座ならではの特徴を活かし、
新しい魅力を一緒に見つけてみませんか？」



問 こうふ亀屋座… ☎ 055・267・8460

天然パーマネット… ☎ tempayms@gmail.com

亀屋座の特徴を実際に体験しながら、演劇の作品づくりに挑戦する実験型ワークショップです。音響・照明を含む限られた環境だからこそ生まれる創造力を楽しみながら、舞台の上だけに限らない亀屋座の魅力を参加者の皆さんと一緒に探っていきます。

対象 亀屋座での舞台創作に関心のある
16歳以上の方

日時

第1回 1月17日(土)午後4時30分～8時
第2回 2月21日(土)午後4時30分～8時
第3回 3月21日(土)午後4時30分～8時
第4回 3月22日(日)午前10時～午後7時

※全日程参加が望ましい

会場

こうふ亀屋座 演芸場

講師

廣瀬響乃さん

(甲府市出身・俳優・やまなし大使)

佐野剛さん(昭和町出身・俳優)

20人(先着順)

定員

1月10日(土)午後6時までに
申込フォームで



とびだせ！市民レポーター！

聞こえる人も・聞こえない人も楽しめる「信玄ミュージアム」

信玄ミュージアムには、手話で案内を行う「手話ガイド」がいることをご存じですか？今回は、ろう者の石神光明さんに、ガイドを始めた経緯や歴史を手話で伝えるために工夫していることなどを語っていただきました。

手話ガイドになったきっかけ

元々歴史が好きで、全国の歴史資料館などを巡っていた石神さんですが、案内は音声中心で、深い内容が分からないまま終わってしまうことが多く、筆談でも細かなニュアンスが伝わりにくいため「もっと知りたい」という思いが強くありました。そんな中、甲府市が開催した歴史講座に参加し、担当者に「聞こえない人も学べる手話ガイドが必要では…」と伝えたとこ、信玄ミュージアムの新しい取り組みとして手話ガイドが設置され、石神さんの活動が始まりました。



▲信玄ミュージアムでは映像展示もあり、誰もが楽しめる工夫がされています

手話で伝える工夫と魅力とは？

「ガイドを対象とした研修会の参加や、歴史に関わる言葉をどの手話で表すことが適切か一つずつ確認しています。歴史用語には日常では使わない言葉も多く、筆談で漢字の読み方を補足したり、写真を活用したりなど工夫しています。手話は“目で見る言語”。手話単語・表情・空間を上手く使い、場面の広がりや人物像を伝えることが魅力」だと語ってくれました。展示物や自作の資料を組み合わせることで、来館者がより深く理解できるよう心掛けています。



▲「今後も研修会や講座に通い、知識を積み重ねていきます」と話す石神さん

手話ガイドとして挑戦したいこと

「手話を通して互いに理解が深まっていくことが何より嬉しく、武田氏に関わる歴史をより分かりやすく伝えるため、これからも研修などを通して勉強を続けていきます。現在、手話ガイドは私一人ですが、今後は、仲間を増やせたらと考えています。聞こえる人と聞こえない人が共に歴史を楽しむ場を一緒に広げていければ嬉しい」と今後の目標も話してくれました。



手話ガイドを利用するには、
歴史文化財課へFAXかメールで予約が必要です。
詳しくは市HPをご覧ください



【市ホームページ】
市民レポーターブログ
市民レポーターブログ 検索



今月の担当レポーター 深澤 朗子

展示室で石神さんの手話ガイドを体験しました。手話でエピソードを交えて説明してくれると、武田氏のことがぐっと身近に感じられ、歴史についてもっと知りたくなりました。みなさんも、ぜひ一度体験してみませんか？



市民レポーター募集！

特別な技術・知識は
必要なし！

申 問 情報発信課… ☎ 055 (237) 5314

広報誌や市ホームページのブログなどで、甲府のさまざまな魅力を市民レポーターとしてお届けしませんか。

人数・条件
任期
申込

若干名・市内在住の18歳以上の方(令和8年4月1日現在)
1年(令和8年4月1日～令和9年3月31日)
2月2日(月)【必着】までに応募申込書(本庁舎5階情報発信課に設置。市ホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入し、〒400-8585 甲府市役所情報発信課まで郵送、持参またはEメール(kouhou@city.kofu.lg.jp)で

※書類選考後に面接で採用を決定。若干の謝礼あり(常勤の業務ではありません)。詳しくは市ホームページをご覧ください



ご応募お待ちしております！



詳しくはこちら